

かみかつちょう ふどの

- 上勝町府殿集落では、それまでのイノシシやシカの捕獲とともに、平成22年に集落全体を囲む侵入防止柵を導入するなど被害防止対策を推進。
- 集落の住民が交代で侵入防止柵及び緩衝地帯などを見回り、柵の補修や刈払いなどを行い、農作物被害額の低減を実現。この結果、平成26年度に中国四国地域鳥獣被害対策優良活動表彰を受賞（中国四国農政局長賞）。

## 上勝町の課題

上勝町は四国山地の南東に位置し、町の総面積の88%が山林地帯で、標高100m~700mの間に大小55の集落が点在。多くの野生鳥獣が生息し、被害が発生。

- ① 町では、イノシシやシカ対策として、捕獲に加え、侵入防止柵（22地区、約90km）を設置する中、「府殿集落」でも平成22年に侵入防止柵を設置（全集落をカバー（3.6km））。
- ② また、サル及びカラス用の大型捕獲檻を設置し、効果的な捕獲を実現。

■上勝町府殿集落（農業従事者）

【人口18人、平均年齢73.6歳】



棚田を囲むように、山際に侵入防止柵を設置

## 防護柵による鳥獣被害対策

侵入防止柵の導入効果が図られるよう、集落ぐるみのきめ細やかな維持・管理の活動を推進。

- ① 侵入防止柵の導入など町が進める鳥獣被害対策について、集落内の会合などの機会を捉え、対策の内容や役割分担等をきめ細かく説明し、合意形成を構築。
- ② 具体的には、集落内の柵全部について、集落の住民（2人1組）が交代で月1回、見回り等を実施。

見回りの際、柵毎に取り付けられた番号札を元に、柵の破損等があれば、その場で補修を行うとともに、自ら対応できないものは、見回り後に速やかに関係者に伝えられ、後日対応を行うなど見落としがないよう補修等を実施。



## 取組の効果

有害鳥獣による農作物被害の激減により、被害への不安が解消され、営農意欲も継続し、持続的な農業生産が実現。

	捕獲頭数	被害額
上勝町	イノシシ、シカ等 H25:1,771頭 ↓(3割減) H29:1,239頭	H20:約1,400万円 ↓(5割減) H29:約629万円
うち 府殿集落	イノシシ、シカ等 H26:4頭 ↓(4倍) H29:17頭	H26:約40万円 ↓(8割減) H29:約9万円

- 上記の取組が認められ、平成26年度中国四国地域鳥獣被害対策優良活動表彰にて中国四国農政局長賞を受賞。



住民全体の取組により棚田等の維持が図られている。

<課題>

※高齢化に伴い、集落機能維持が課題。